

感染症予防ガイドライン 水泳競技会

【アーティスティックスイミング競技】

新型コロナウイルスの感染を最大限に防止しながら大会を運営するためには、選手、チームスタッフの皆さんの理解と協力が必要です。残念ながら感染のリスクは0（ゼロ）ではありません。ひとり一人が自覚と責任をもって自己防衛することが重要です。自己防衛は、家族や仲間を守ることにつながります。「自分は大丈夫」の考えは捨て、大会に係わるすべての人が新型コロナウイルスの特性を正しく理解し、感染防止に努めてください。

(新型コロナウイルス感染症の情報は厚生労働省のホームページ等で公開されています)

【選手・引率者の皆さんに守っていただきたい事項】

1. 大会前

①大会初日10日以内において以下のいずれかの事項に該当する場合は出場を見合わせる。

- ・発熱(37.5℃以上)を認める。
- ・せき、のどの痛みなど風邪の症状がある。
- ・だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
- ・嗅覚や味覚の異常がある。
- ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある。
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる。
- ・参加10日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

②指定の「健康管理表」に大会当日とその10日前から健康状態を記録すること。

【健康管理表について】

- (1) 健康管理表は感染症の拡散防止を目的に、参加者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要な連絡のために利用します。
- (2) 大会初日の10日前から体温と健康状態について正確に記入してください。
- (3) 健康管理表は大会要項で指定する専用の様式を使用してください。
- (4) 記載に不備がある場合は、大会の出場または会場への入場を許可しない場合があります。

2. 大会当日

①入館から退館時までの全ての場面で、十分な対人距離(できるだけ2m以上)をとって行動する。

②指定された入場時間を厳守する。(指定時間より前には入場できない)

③入場時は自身のADカードを提示し、検温を受けて「健康管理表」を提出する。いかなる場合でもADカードの提示および健康管理表の提出がなければ入場できない。

④入場時検温にて発熱が認められた場合は、大会救護担当者の指示に従う。

⑤入場前に体調不良となった場合は、会場内に入場せず帰宅するか、判断に迷う場合は入場口の大会スタッフに申告する。

【入場について】

- (1) 開催要項または追加要項の指示に従い、必要以上に早く来場しないでください。
- (2) 入場方法の詳細は追加要項を確認してください。

- ⑥会場内で体調不良となった場合は、近くの大会スタッフに申告し、移動せずにその場で指示を待つ。携帯電話等で連絡可能な場合は、その場で大会実行委員会に連絡し指示に従う。（連絡方法は実施要項等で指定する）

【体調不良時の対応について】

- (1) 会場内で体調不良となった場合は、なるべく移動を避けて近くの大会スタッフに声を掛けてください。また、直接救護室に行かないでください。
- (2) 引率責任者は常に所属選手の体調に注意し、体調不良者を発見した場合は、速やかに追加要項に記載の電話番号に連絡し指示に従ってください。

- ⑦消毒液で手指の消毒をしてから入場する。また、こまめな手洗いと手指消毒を実施する。トイレなど共用部の利用後は必ず消毒を行うこと。（手指消毒と触れた場所の消毒）

【消毒について】

- (1) 新型コロナウイルスは、目や鼻から感染する場合があります。ゴーグルやノーズクリップは常に清潔に管理し、装着時は手指の消毒を行い清潔な手で取り扱ってください。

- ⑧会場内では、入水時を除きマスクを着用すること。（更衣室・プールサイド・トイレ・控え場所・招集所などで着用する）ただし、マスクが濡れないように着用する。
- ⑨マスクを外した時は、専用のケースまたはポケット等に収納すること。また、マスクを外している間は会話を控え、咳やくしゃみが出る場合は、口を「肘で覆う」または「タオルや衣類で覆う」など咳エチケットを徹底する。
- ⑩マスクは水濡れ等で使用できなくなることが予想されるため、必ず予備を持参すること。また、不要になったマスクは、ビニール袋等に収納して持ち帰ること。（会場内では捨てない）

【マスクについて】

- (1) 演技直前は、招集係の指示があるまでマスクを外さないでください。
- (2) 演技直後やウォームアップ直後は、呼吸が落ち着くまでマスクを着用せずに静かに指定の場所で待機してください。

- ⑪可能な限り水着を着用して来場すること。
- ⑫更衣室は係の指示に従い利用すること。更衣室の入退時に手指消毒を行う。また、体や髪が濡れている場合は更衣室に入る前に十分に水を拭き取ること。（更衣室内に留まる時間を極力短くする）

【更衣室について】

- (1) 更衣室は更衣のみの使用とし、**ロッカーへの荷物収納はできません。**
- (2) 更衣中はマスクを着用のまま会話を最小限に止めてください。
- (3) 更衣室内のドライヤー、脱水機は利用できません。
- (4) 更衣室内の扇風機（サーキュレーター）は、換気のために調整してありますので、向きを変えたり移動しないでください。
- (5) 更衣室は入室人数制限を行います。係の指示に従ってください。

⑬練習（ウォームアップ・クールダウン）は、実施要項等で指定された時間および利用方法を厳守すること。

【練習について】

- (1) 追加要項または当日の競技役員の指示に従ってください。
- (2) 水中では、会話を控え可能な限り他者との間隔を保ってください。
- (3) 練習用具をプールサイドに放置すると他者が触れる可能性が高く、感染のリスクを伴います。練習用具は使用しないことを推奨します。また、使用する際は、管理を徹底してください。
- (4) 監督・コーチの大きな声での指導は控えてください。

⑭選手控え場所は主催者が指定するエリアとする。対人・座席間の距離をできるだけ2 m以上保つこと。

⑮ごみは必ず持ち帰ること。

【控え場所について】

- (1) 追加要項で指定する控え場所を厳守してください。指定エリア以外への立ち入は極力避けてください。
※感染者が発生した場合の接触者追跡のためご協力をお願いします。
- (2) 使用禁止の表示がある座席には着席できません。（荷物置き場としての使用は可）
- (3) 通路での他者との接触を回避するため、立ち見を禁止します。

⑯飲食する場合は以下を厳守すること。

- (1) 集団で同時の飲食はできるだけ避けること。複数人が同時に飲食する場合は十分な対人距離を確保し、対面しないこと。
- (2) 食事中は会話をしないこと。
- (3) 飲食物の共有・分け合いは禁止する。
- (4) 要項等で別途指定がある場合は、それに従うこと。

⑰招集は大会実施要項で指定された集合方法に従うこと。

⑱招集所では選手間の対人距離をできるだけ2 m以上保ち、会話を控えること。

【招集について】

- (1) 自分の出場順の2番前の選手の演技が開始されたら、第一招集所で待機してください。自分の出場順の前の選手が演技を開始したら、第二招集所に移動してください。密を避けるため、早めの集合は禁止します。競技進行には配慮しますので、慌てず行動してください。
- (2) 自分の出場順は事前に把握してください。
- (3) 招集所では、コーチは選手から2 m以上離れ、声を出しての指示は控えてください。

- ⑱ウォーミングアップまたは競技出場の際は、衣類・履物を収納するための袋を必ず持参し、自己の荷物はすべて持参した袋に入れて管理すること。

【荷物の管理について】

- (1) ウォーミングアップまたは競技出場の際、衣類やタオルの「むきだし」での放置は感染のリスクを伴います。必ず袋等に収納してください。
- (2) 使用する袋には、クラブ名・氏名を大きく書いてください。リュックサックやナップサック類、ビニール袋等、どんな種類でも結構ですが、可能な限りコンパクトなものを使用してください。なお、競技規則に定める商業ロゴマーク等の取り扱い規定に違反しないように注意してください。

- ⑳大きな声での会話や応援をしないこと。コーチは、練習時の大きな声での指示を控えること。

【応援について】

大きな声での応援は控えてください。
声の代わりに、**大きな拍手を送りましょう！**

- ㉑水泳用具・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。
㉒選手は、自分の競技終了後、速やかに退館すること。
㉓団体で集合してのミーティング等は禁止する。
㉔競技会主催者・施設管理者が定めたその他の措置・指示に従うこと。

3. 大会後

- ①大会後10日以内に「新型コロナウイルス感染症」を発症した場合、またはその疑いが生じた場合は、速やかに東京都水泳協会に報告すること。

令和2年8月1日 初版
令和2年11月20日 一部改訂
令和3年2月15日 一部改訂
令和3年9月10日 一部改訂

公益財団法人東京都水泳協会医科学委員会監修

【公益財団法人東京都水泳協会】

〒150-0012
東京都渋谷区広尾1-3-18 広尾オフィスビル8F
電話 03-5422-6147（平日10時～17時）
e-mail oc@tokyo-swim.org